

報告事項ツ

平成23年度第1回鳥取県教育審議会学校等教育分科会の概要について

平成23年度第1回鳥取県教育審議会学校等教育分科会の概要について、別紙のとおり報告します。

平成23年9月6日

鳥取県教育委員会教育長 横 濱 純 一

## 平成23年度第1回鳥取県教育審議会学校等教育分科会の概要について

平成23年9月6日  
高等学校課  
小中学校課

1 日時 平成23年8月23日(火) 午後2時～午後4時45分

2 場所 鳥取県庁第二庁舎 4階 第33会議室

3 参加者 委員：10名(別紙のとおり)

事務局：6名(石田教育次長、藤原参事監兼高等学校課長、山本小中学校課長、  
御船高等学校課高校教育企画室長、牧野小中学校課義務教育主査)

他教育委員会事務局関係者

### 4 議事等

#### (1) 分科会長の選任

矢部委員を分科会長に、重政委員を職務代理者に決定

#### (2) 議事

今後の県立高等学校の在り方について

今後の幼児教育プログラムの在り方について(鳥取県幼児教育振興プログラムの改訂)

#### (3) 報告

平成22年度全国小・中学校不登校児童生徒の状況について

県立特別支援学校の整備方針について

### 5 委員からの主な意見

#### (1) 今後の県立高等学校の在り方について

- ・ 学校と地域とのつながり等を考えると学校を減らすことは望ましくないと思うし、学科減や学級減を検討する際は、一律に減らすのではなくて学科の特性や地域の特性を踏まえて決定することが必要である。
- ・ 生徒数の減少に伴い学級が減ると教員の採用も減ることになる。現在でも新規採用者が少なく、このような状況が続くと若手教員がさらに少なくなり、ベテラン教員から若手教員への教育の技術を引き継ぐことができなくなってしまう。教員を確保するというのも鳥取県の教育を考える上で大きな課題であると思う。
- ・ 福祉学科については、教員の確保や実習時間数の多さなどを考えると、高校教育とかけ離れる可能性がある。資格取得は高校卒業後の専門学校等でよいと思う。高校は人間形成の教育を中心に実施すべきである。
- ・ 今ある学科を大きく変えるのではなく、既存の学科の中に盛り込んで対応できるものは、そのような対応を行ったほうがよいと思う。

- ・高校では基礎的な学力を身につけることが重要であり、その後で専門分野への進路を考えた方がよいと思う。
- ・本県の伝統技能を継承するような学科を作ってはどうか。技能を持っている人を地域から教員として招き入れたらおもしろいと思う。
- ・中学校卒業段階で看護や介護の学科を選べるかどうか疑問。まずは、高校で基礎的な教養を学んだ方がよいと思う。専門範囲の広い商業や工業と比較して、看護や福祉は専門分野が限られている。やはり中学校卒業段階で選ぶのは厳しいのではないかと思う。
- ・ただ、中には早い段階で進路を選べる子もいる。高卒後では、職業選択の先送りになってしまふ懸念もある。中学校卒業時の選択肢の多様性を持たせるという意味では、新学科の設置はよいと思う。
- ・中学2年生で職場体験を実施しているが、体験することは職業の選択肢を広げるよい機会であり、また人間性の育成にもつながる。多くの機会を与えることが大事である。専門高校においても自分の専門の分野以外にも触れさせることは大事だと思うし、その意味で、学科を早い時期に選択してしまうのはどうかと思う。

(2) 今後の幼児教育プログラムの在り方について(鳥取県幼児教育振興プログラムの改訂)

- ・最近の国の流れをみると、子どもを早期から預けて子育てを外注することを後押しするよう  
に思う。認定こども園を県としてどうとらえているのか、重要なことなので慎重に検討して  
ほしい。家庭教育のすばらしさをアピールしてほしい。
- ・保育サービスが広がるイメージがあるが、親子の絆をしっかりと築きたい。働く女性が多い  
現状もあるが、幼児教育としての核を強調しながら、サービス過剰にならないようにしたい。
- ・親としての自覚を幼児期に持たせることを期待したい。
- ・湯梨浜町では、平成24年度から「羽合こども園」が開設される。子どもの学びの環境を整  
えたり、親育ちを支えたりする教職員の資質が重要であり、県の幼児教育振興プログラムに  
期待している。
- ・家庭での愛着形成を担保し、一方で人間関係の多様性を付与することをめざしたい。  
幼児期は、「芽生え」の時期であるが、「芽生え」に「体験」を加えると小学校へつながるの  
ではないか。
- ・「子育て」と「親育て」を同時にする必要がある。いい解決策を提案してほしい。

6 その他

本分科会を今年度中にもう1回開催する予定としている。

鳥取県教育審議会学校等教育分科会委員名簿

(任期 平成22年10月1日から平成24年9月30日)

氏名	所属・職名	備考
いけうち かつひこ 池内 勝彦	鳥取県高等学校PTA連合会会長	
こえだ たつや 小枝 達也	鳥取大学地域学部教授、附属小学校校長	
しげまさ よしひろ 重政 好弘	鳥取大学学長顧問	
ししど まさお 宍戸 正郎	倉吉北高等学校校長	欠
ふくしまちずこ 福嶋千寿子	倉吉市立久米中学校校長	欠 (H23.7.8~)
まつもと きよはる 松本 清治	県立倉吉総合産業高等学校校長	
まつもと のりこ 松本 典子	鳥取短期大学教務部長兼幼児教育保育学科教授	
もりもと ひろこ 盛本 裕子	県立白兔養護学校校長	
やべ としあき 矢部 敏昭	鳥取大学副学長	欠
やまぐち あさこ 山口 朝子	鳥取市教育委員	
やまもと かずよ 山本 和代	鳥取県PTA協議会副会長	
よしだ ひでみつ 吉田 秀光	三朝町長	
いちはし ゆきよ 市橋 幸代	湯梨浜町立松崎幼稚園園長	(臨)
もじま てるみ 茂嶋 照美	倉吉市立社小学校教頭	(臨) 欠

所属・職名欄の(臨)は、臨時委員。